

交 配 手 順

1. 交配する組み合わせを決める。
 - 1) 花色や八重・一重等を考慮して、母親(種子親)と父親(花粉親)とを決める。
 - ・母親には、必ず自分が栽培している株(鉢植えが作業に便利)を選定する。
 - ・咲く花の数と、種取りしたい種類(自殖、交配)の数とを考えて決める。
 - ・父親は、自分の株でも愛好会員の株(花粉だけ貰う)でも良い。
 - 2) 自分の娘に婿をもらう気持ちで、娘に適した花色の婿さんを選ぶ。
 - ・自分が作り出したい花色が出るだろうと予想して、婿さんを決める。
 - ・極端な花色を組み合わせ、どんな子供が出来るかを楽しむのも良い。

2. 交配の時期(日時)を見極める。
 - 1) 母親株に、交配適期の半開きの花(開花直前で花粉が出ていない花)があることを確認する。
 - 2) 父親株に、花粉を十分に持った新しい「雄しべ」があることを確認する。
 - 3) 花粉は、天気の良い日の午前 10 時から3時頃に良いものが沢山採れる。
 - ・交配で沢山の種子が採れるかどうかは、花粉の善し悪しにかかっている。

3. 交配の準備をする。
 - 1) 母親の半開きの花の雄しべを取り除く(除雄する)。
 - ・ピンセットで雄しべをつまみ、そのまま軽く持ち上げると取れる。
 - ・小さいはさみ等で雄しべを切り取ってもよい。
 - ・これらの作業中、花首が弱いので、花に強い力をかけないように注意する。
 - ・下を向いている花を、無理に上に向けたりせず、台の上に鉢を載せたり、地植えの場合は、シートなどに寝そべて、花を大切に作業する。
 - ・また、雌しべや雌しべの付け根にある子房を傷つけないようにも注意する。
 - ・雄しべの除雄が全て終わった後、取り残しが無いことを確認する。
 - 2) 雄しべの周りにある蜜腺(ネクター)を取り除く。
 - ・蜜腺は、必ずしも取り除く必要はないが、カビてくることがある。

4. 交配する。
 - 1) 花粉が良く出ている雄しべを選ぶ。
 - 2) ピンセットなどで雄しべを丁寧に取り取る。
 - ・他の場所から花粉を貰う場合には、小さいチャック付きビニール等に入れて持ち帰る。
 - 3) 母親の雌しべの先端に、花粉を十分につける。
 - 4) 花粉が少ない場合は、花粉を付ける作業を何回か繰り返す。
 - ・雌しべの先端に付いた花粉の塊が、はっきり見えるくらいが良い。

5. 交配の後作業をする。

- 1) 交配親名をラベル(プラスチック製)に鉛筆で記入する。
 - ・ラベルには、F1(P1 x P2)と書く。P1 は母親、P2 は父親の名前とする。
例えば、F1(ピンク x バイオレット) とか、F1(Dbl W1 x Dbl AW23) 等と書く。
F1 は、雑種第1代の意味で、その子供は雑種第2代で F2 となる。
- 2) お茶パック袋にラベルを入れて、交配した花に被せて、ホッチキスで止める。
 - ・お茶パックの袋の外の見え易い所に、交配した日付を書いておく。
 - ・交配後、約2カ月で種が熟してこぼれてくるので、採種の目安にする。
 - ・この作業は、交配作業の中でもっとも花首を痛め易いので、特に注意する。

【交配に使用する道具】

- ・ピンセット (小さいはさみ)
- ・ラベル(プラスチック製でお茶パックの中に入るもの)、鉛筆
- ・お茶パック袋(小)、マジックペン、ホッチキス
- ・チャック付きビニール袋(小)

これらを1つの箱にまとめておくと便利です。